

野菜価格安定緊急対策事業

【2, 249百万円】

対策のポイント

野菜農家が、継続して農林水産業に携わる環境を整えるとともに、野菜の価格低迷のリスクへ備えるため、経営の悪化を緩和する対策を実施します。

<背景／課題>

- ・今夏、野菜の価格が全般的に低迷していることから、野菜価格安定制度のための資金が急速に減少しており、制度の運用に支障をきたすおそれがあります。
- ・このため、日本再生戦略の実現前倒しとして、野菜農家が継続して農林水産業に携わる環境を整えるとともに、野菜の価格低迷のリスクへ備えるため、経営の悪化を緩和する措置を講ずる緊急対策が必要です。

政策目標

「食料・農業・農村基本計画」において設定された、需要に応じた生産数量目標を達成

○野菜の生産量（1,265万t（20年度）→1,308万t（32年度））

<主な内容>

野菜価格の低迷の長期化に伴い、野菜価格低落時に交付する生産者補給金等のための資金が急激に減少していることから、来年1月から3月の野菜生産者への生産者補給金等の交付を確実に行うために必要な資金の追加造成を行います。

補助率：定額
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構

（お問い合わせ先： 生産局園芸作物課 （03-3502-5961（直））